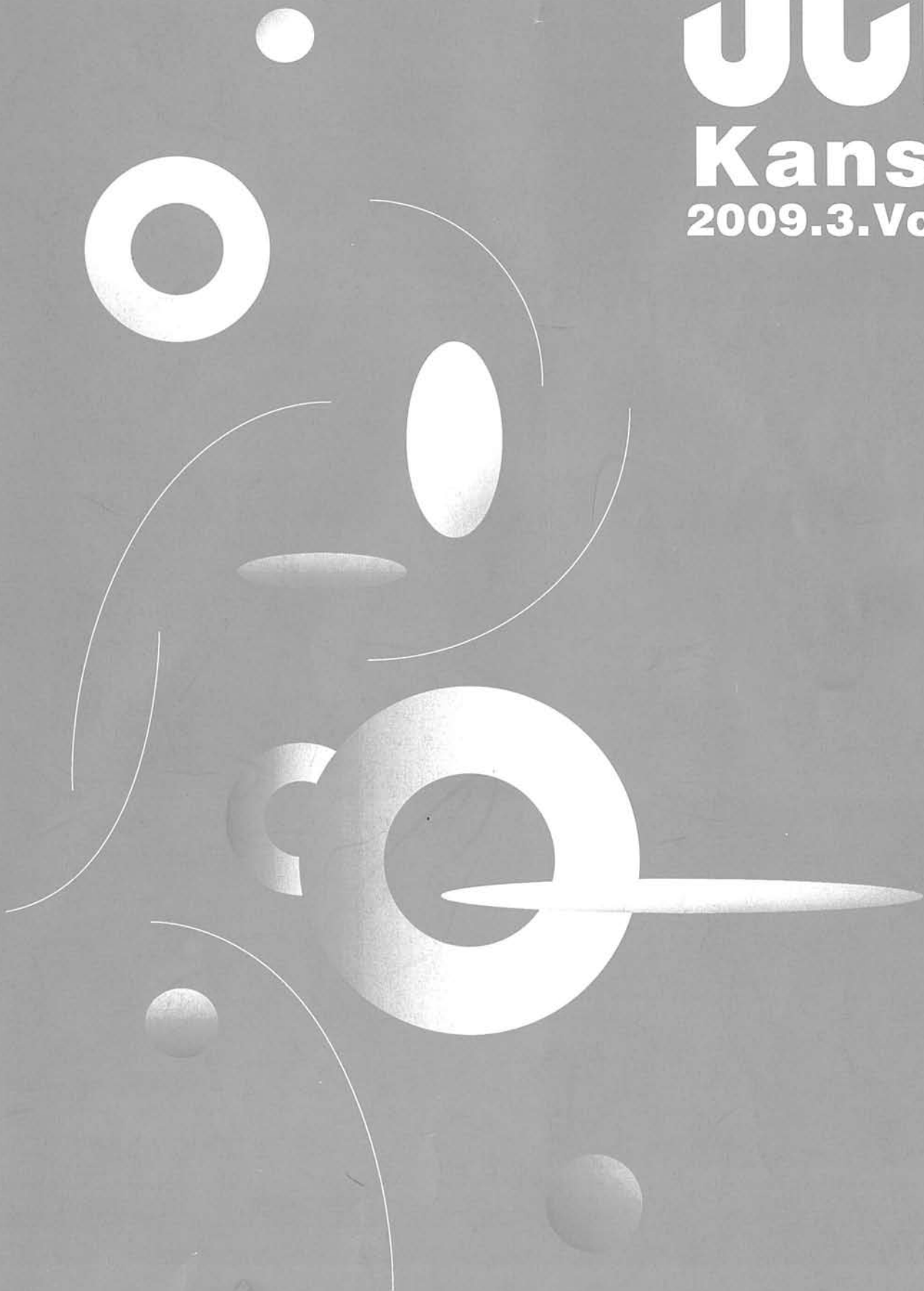


JCD

Kansai

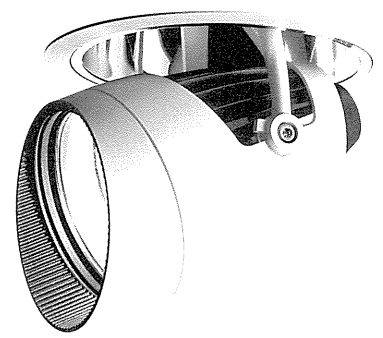
2009.3.Vol.64



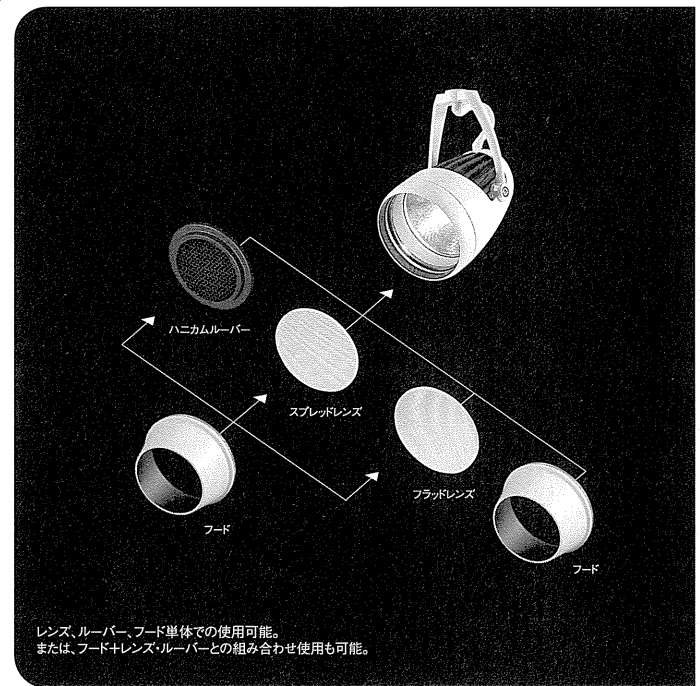
空間に+



SPOT



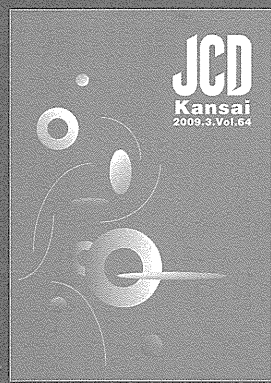
DOWN SPOT



レンズ、ルーバー、フレッド単体での使用可能。
または、フレッド+レンズ、ルーバーとの組み合わせ使用も可能。

JCD Kansai 2009.3 Vol.64

[表紙・デザイン]
「宇宙のパラダイム」
MINO GREER (ミノ・グレエ)
友田みのり



表紙のデザインを...とインプット...
手の動きにまかせて描いてみると
「宇宙のパラダイム」が生まれました。

2009年(平成21年)3月号
vol.64 平成21年3月発行
発行/社団法人
日本商環境設計家協会
関西支部
〒559-0034
大阪市住之江区南港北2-1-10
ATCビル ITM棟10階A-1
(財)大阪デザインセンター内
Tel./Fax. 06-6613-5557

広報委員会
委員長/三嶽 穂積
委員/青野 恵太 岡島 昇
加藤 義行 先崎 綾華
友田みのり 野井 成正
橋本 健二

制作/グラフィックアーツ ヘルテ

社団法人 日本商環境設計家協会 関西支部
JCD KANSAI 2009年3月 第64号

04 ● 報告

JCD関西支部活動方針
平成20・21年度 関西支部 活動指針 ————— 白井 進
JCD kansai 創立50周年記念事業について ————— 白井 進
ホームページ開設 ————— 三嶽 穂積

06 ● 特集

JCDデザインアワード2008
JCDデザインアワード2008審査経過 ————— 小泉 誠
公開審査の見学記 ————— 飯島 直樹
デザインには人を幸福にする力が宿っている ————— 川島 蓉子
審査評 ————— 廣村 正彰
大賞評 ————— 近藤 康夫

10 ● 報告

研究委員会報告
JCD/DAIKO連続デザインシンポジウム ————— 中尾 晋也

12 ● 連載

Working Now
新入会員紹介 ————— 長山 博
新入賛助会員紹介 ————— (株)アダル・(有)神城技研・クリヤマ(株)・(株)大富・和田商事(株)

14 ● 報告

広報企画委員会報告
デザインカレッジ ————— 橋本 健二
日本の空間デザイン展2008 ————— 末浪 伸浩

16 ● 報告

JCD関西支部活動報告
2008年度支部総会 ————— 市川 邦治
JCD関西クリスマスパーティ「トークサロン「私の仕事」& Christmas Party」 — 藤村 正継
平成20年度 大阪市優良店舗コンクール JCD賞決まる ————— 山田 悦央
JCD関西恒例ビアパーティ ————— 市川 邦治
第29回DDA・JCD・SDA合同チャリティー絵馬展 ————— 市川 邦治
るるぶ会 ————— 萱野 光一

JCD kansai 協力賛助会員

movav+

[ムーバプラス]



本社/〒541-0043 大阪市中央区高麗橋3-2-7高麗橋ビル Tel.(06)6222-6240 Fax.(06)6222-6252

みんなで止めよう温暖化 チーム・マイナス6%

私たちDAIKOはチーム・マイナス6%に参加しています。

JCD関西支部活動方針

平成20・21年度 関西支部 活動指針

関西支部 支部長 白井 進

『次代の創造』

社団法人としての社会貢献に加え、協会の更なる認知度向上を目指し、本部組織との協同を図りながら、関西支部独自の展開を試みます。

正会員、賛助会員共に、その存在価値を高められる活動ができる環境づくりの為に、明確な方向性を打ち出し、共通の目的意識を持って積極的に参加できるよう、『次代の創造』を基本方針に、創意工夫をもって各事業計画を推進したいと考えています。

1. 運営組織の刷新

目的を明確にすることで活動の活性化を図り、結果として構成会員個々の利益につなげられるよう組織の構成及び役割を新たにします。

2. “人財”の発掘

興味深く有意義なイベント計画、魅力ある活動を通して、協会及び会員の存在を訴求し、会員の拡充を図ると共に、次世代への広報材料とする。

3. ネットワークの構築と交流の強化

業界にとどまらない多方面との交流によって、ビジネスチャンスを生み出す。

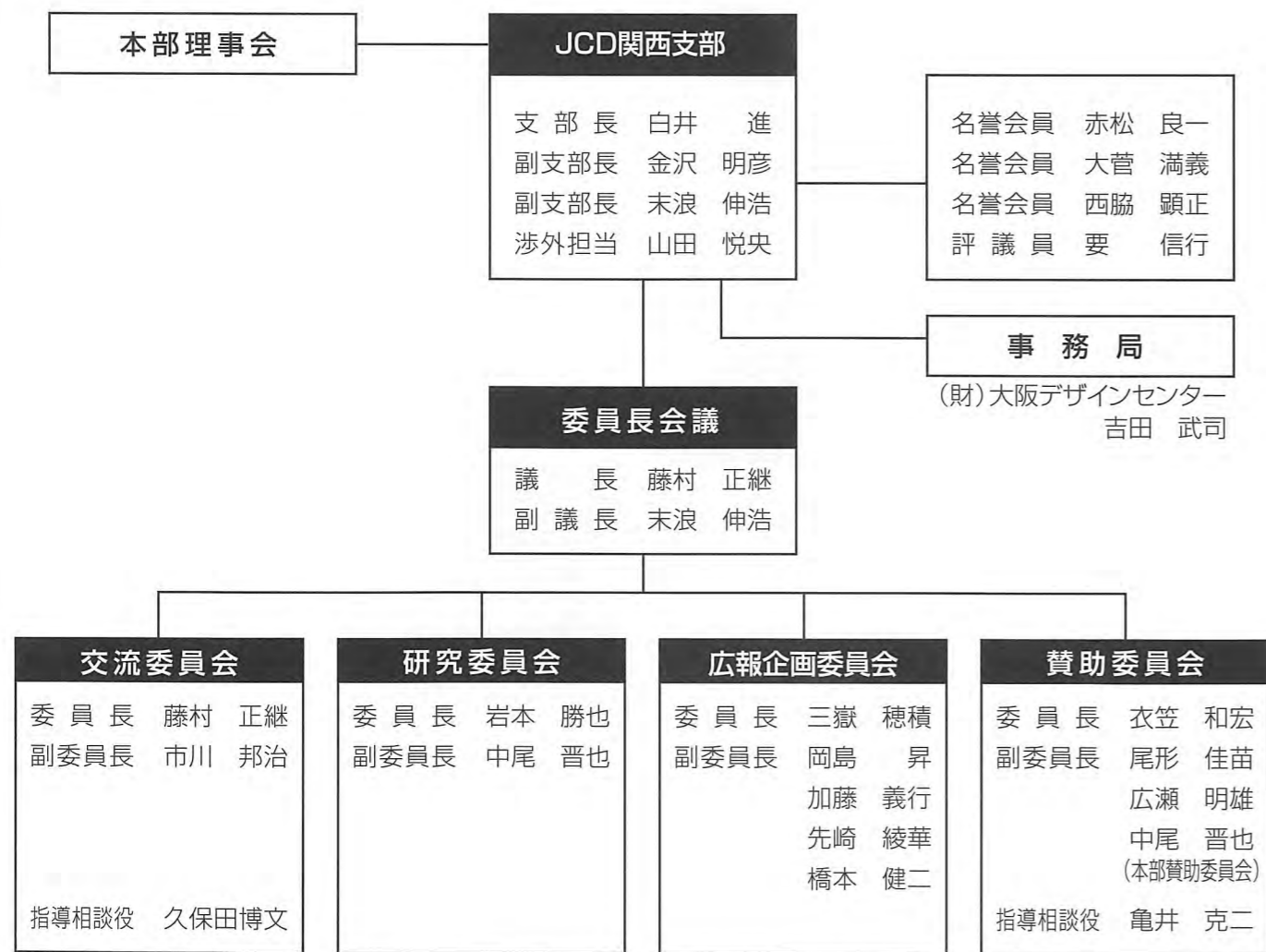
4. 賛助会員との連携強化

正会員⇄賛助会員、相互のメリットをつくり出す。

5. 財務の強化

円滑な支部事業活動を行えるよう、財務基盤を検討する。以上の活動を通して明確な方向性を打ち出し、共通の目的意識を持って積極的に参加できる環境づくりに取り組み、『なくてはならないJCD』の確立を目指します。

関西支部 組織図



・各種交流会の計画
及び開催、実施
・会員作品展
・絵馬展

・日本の空間デザイン展
・商環境フォーラム
・デザインシンポジウム
・協同セミナー

・JCD Kansaiの発行
・関西支部HP
・デザインカレッジ
・コアトーク

・Product of the year
・商品説明会
・企業PR

JCD kansai 創立50周年記念事業について

関西支部 支部長 白井 進

『ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず。よどみに浮かぶうたかたは、かつ消えかつ結びて、久しくとどまりたるためしなし。』

方丈記の冒頭部であります。JCD kansaiの40周年記念特別号の発刊に際して、大先輩であります名誉会員の菅満義さんがこれを引用され、さらに「これからも若い人達が次から次へと新しい『うたかた』を創り出しながら、絶えることなくJCDが続いていくものと思います。」と結んでおられます。

そして時は久しく、いよいよJCDは創立50周年を迎えようとしています。東京本部では準備委員会が設けられ、記念事業についての取組みが始まりました。今回それに伴いまして私たちは、本部の記念事業にできる限り中心的な役割を担いながら推進していくための体制をつくること共に、関西支部独自の記念事業を模索しているところがあります。

ほぼ時期を同じくしてスタートした私たちJCD関西支部も、これ迄半世紀にわたり関西地区での商環境デザインのリーダーとして、JCDを導いてこられた諸先輩の方々に敬意を表しながら、次世代の人たちがいかにして長期的な観点で古くから関西という地域に根ざした歴史や文化、

風土などをしっかりと捉えながらデザインを実践していける環境を、この機会にあらためて整える必要があると考えます。

先ごろ行いましたJCD/DAIKO連続シンポジウムでも、『グローバル』というテーマで、“グローバルな視点とローカルな感性を持ちながら、民族のアイデンティティも十分に発揮しよう”ということが語られた訳であります。

ただ、時はあいにく百年に一度といわれる厳しい不況の折から、その記念事業は時勢即応のものでなければならぬことは自戒しております。

- 今のところ
1. 記念出版 (JCD kansai 記念号) 事業
 2. 記念フォーラム・レセプション開催

といった2本立ての事業計画というご説明しかできませんが、来期(4月)から関西支部の創立50周年記念事業準備委員会を設置いたしまして、具体案を協議の上、会員・賛助会員の皆様方に序々にご提案しながら詳細を整えてまいりたいと考えておりますので、今後共ご協力のほど、よろしくお願いたします。

ホームページ開設

広報企画委員会 三嶽 穂積

JCD関西支部のホームページが出来ました。現在できたばかりで利用しにくい部分や分かりにくい部分など多くありますが、今後、ホームページを会員と賛助会員の方に有効に活用していただくため、また一般の方にもJCDの活動が分かりやすいよう随時改めていきます。かなり自由にできるようになっておりますので、どんどん自分なりの使い方をしてください。まずは稼働状態を見てからより良いホームページにしていきます。

また、ご意見等ありましたら、ホームページのBBSに書き込んでいただくか、三嶽までご連絡ください。

●ホームページへの書き込み方法

会員専用ページからメールアドレス・パスワードを打ち込むとメニュー画面が出ますのでそこから書き込みができます。会員情報・イベント・活動報告・BBSなどです。どんどん書き込んでください。

<会員情報>

ホームページを有効に活用していただくために、各会員紹介のプロフィールの書き込みや作品紹介(写真も入られます)など会員の活動内容が見られるようになっていきます。

会員・賛助会員のホームページへのリンクもできるようになっています。

<イベント>

イベントの予告・展示会の予告・新商品の案内などを書き込んでください。

<活動報告>

JCDの活動・イベントの報告など書き込んでください。

<メール送信>

会員・賛助会員などに一斉にメールを送りたい場合御利用ください。

現在グループは

- ①正会員 ②賛助会員 ③正会員と賛助会員に分かれています。今後グループの設定をできるようにしていきますので、いろいろな使い方ができると思っています。

<会員作品コーナー>

このコーナーは広報企画委員会の方で設定いたします。

<協賛バナー>

協賛いただいた賛助会員のためのバナーをトップページに予定しています。

ホームページ URL

<http://www.jcd-kansai.jp/>

JCDデザインアワード2008

JCDデザインアワード2008審査経過

JCDデザイン賞委員長 小泉 誠

JCDデザインアワードは「世界一の空間コミュニケーションを決定する。」と唱い、本年度から全世界へ向けての応募を開始した。一昨年に行っているインターネットでの応募では414点(うち国外25点)の応募が集り、様々な分野の審査員(飯島直樹、五十嵐久枝、岩佐達雄、牛建務、奥平与人、加藤吉宏、桐山登士樹、小泉誠、小坂竜、妹島和世、武石正宣、太細通、辻村久信、中村拓志、長谷川演、文田昭人、間宮吉彦、ヨコミゾマコト、二次審査員)24組により一次審査を行い、JCD2008.BEST100を選出した。

二次審査は6月17日に東京デザインセンターにて100点のプレゼンテーションパネルをもとに審査員6名(近藤康夫審査員長、川島蓉子、中村竜治、橋本夕紀夫、廣村正彰、面出薫)により一般

公開審査の見学記

私は2次審査員ではない。だからこの一文は審査評ではなく、公開審査の見学記である。主催者として公開審査に立ち会い、応募作の選出を注視した。この数年のJCDデザインアワードは、公募という限定の枠をおし拡げる空間デザインの最前線を示していると言っている。それは日本での水準の高さを示すだけでなく、世界性を伴ったデザイン状況を示しているといっても過言ではない。

デザインを難しく語る必要はないが、この状況は適確な批評を必要としている。私は最近の公開審査に立ち会いながらそんなことを思い、体がムズムズしてきた。

私はとくに、この数年の若い建築家たちのさし示すデザインに興味をもった。空間に内在する構造や形式性を巧みに引きずり出しながら、その空間に参画することでしか得られない身体との距離のとり方をおもしろいと思った。脳と身体との同居とでも言ったらいいか。中村拓志の美容室の建築(2006年の大賞)、中村竜二のメガネ店(2007年の大賞)、そして今年で言えば寶神尚史のメガネ店、

デザインには人を幸福にする力が宿っている

審査員 川島 蓉子

“まち・みせ・ひとから市場を読む”ことを生業としてきた私にとって、ショップデザインは重要な存在のひとつだった。そうと強く意識しなくても、人は“みせ”を訪れる時に、空間によって大きく気分を左右されるものだからだ。凜とした静謐な空間に身を置いて気持ちがざりりと引き締まったり、饒舌で賑々しいインテリアに囲まれて心浮き立つ思いをしたり——身を置くだけで、その“みせ”ならではの気分を醸成してくれるのだ。

しかもそれは、ショップデザイン単体で成立するものではなく、“みせ”の存在自体と不可分なもの。“みせ”が発信したいモノやコトを密やかに際立たせる重要な役割を担っているのがショップデザインと言える。つまり、“みせ”にあるモノやコトといった商品、それを扱っている販売員、それらを取り囲んでいるショップデザインが

審査評

審査員 廣村 正彰

空間をデザインするという意味を深く考えさせられた審査であった。審査の机上に並べられた100点の作品は、本来の商業空間中心のものから建築や住空間、ディスプレイやインスタレーションにまで領域が広がって実に多様な印象を受ける。

募集段階でジャンルにこだわらず空間や環境に関わる新鮮な提案をと告知し、その結果国内外問わず広く集まったもので、あえて「商」にこだわらない方針が幅のある出品に繋がったのである。

近年グラフィックデザインの領域でも活動の守備範囲は広がり、プロダクトデザインから空間、ネットやウェブを中心としたインタラクティブデザインなどの作品も多くなり、こちらも多彩になってきた。

考えたらデザインという概念にはジャンルやカテゴリーなんて最初は無かったわけで、多岐にわたる活動の範囲をある程度限定するために細分化されたのが経緯であろう。

公開で審査が進められた。第1段階で入賞者25名が選出され、第2段階で金賞と大賞候補の6点を選出した。大賞決定前に入賞者の中から新人賞3点が選出された。その後大賞選定が行われ「隙屋」と「BLESS」の2点に絞られ、白熱した討議のうえ僅差で「隙屋」が大賞と決定した。審査員賞は銀賞以下から5点を選出された。今年は審査終了後、審査員6名に加えBEST100に選出された中から若手6組(大坪輝史、大野力、KEIKO+ MANABU、ナツメトモミチ、藤原敬介、寶神尚史)が集まり、飯島直樹理事長の進行のもとミニシンポジウムが行われ、JCDデザインアワードに対するリアルな議論が繰り広げられた。

社団法人 日本商環境設計家協会 理事長 飯島 直樹

KEIKO+MANABUのファッションショップは、それぞれの引き出しからの固有のデザインであると同時に、デザインの作法の「ひとつの動向」に見えた。それらは新鮮で魅力的だった。応募総数414点は、デザインを通じて見事に時代を映し出す。今年もそうだった。

今年の大賞選出はこの中のひとつ「BLESS」KEIKO+MANABUと、「隙屋」鈴木幸治が議論の対象となった。結果は隙間を空けて貼られた杉板の箱のような住居兼合宿所、「隙屋」の大賞であった。野放図といってもいいような湖畔の建物である。

この結果を、「デザインのリアリティ」への問いかけではないか、と私は思った。高い達成の「BLESS」のデザイン。デザインの磁場では群を抜いている。一方、「隙屋」には洗練は無いが、光と空気とそれを循環させる建物のリアリティがあった。冷暖房空調の代わりに浜名湖からの風が通り抜ける。肩肘張らない持続可能性(サステナビリティ)という「時代」をしなやかに映し出していた。合宿をしたくなる空間である。

見事な加減で調合されている時にこそ、訪れる人は独自性のある気分を味わい、楽しんでいるのだと思う。

今回の審査においては、自分自身がそこに身を置いた時にどんな気分を味わえそうなのか——“みせ”を見て回っている時、私がいま大切にしてきた視点から判断した。つまりあくまで“使い手の視点”に立って選んでいったのだ。

審査における多くのショップデザインとの出会いは、実に豊かな気分を味わわせてくれた。ショップデザイン単独でなく、そこにどんなモノやヒトが配されるのかに思いを及ぼせながら、審査を心から楽しむことができた。そして改めて、ショップインテリアにおけるデザインのおおきな可能性を感じることができたのである。デザインには、やはり人を幸福にする力が宿っている。

しかしこの審査では同じ机上に並べられた作品群を同じ基準で審査するには単にジャンルの違いだけでは済まされない難しさが含まれているように思われた。

実際インテリアデザインと建築ではデザインのベクトルは真逆に向いており、空間をデザインする意味として、内側に向かって意識の密度が凝縮してゆくインテリアデザインと、外に向かって意識が放出され環境や社会と密接な関係を築こうとする建築では基本的にデザインに対する意味が違うのではないだろうか。インテリアデザインの対象はあくまでも「個」であり、個人の住宅であっても建築の対象は「社会」なのである。

今回審査の最終決戦で議論されたものその部分ではなかったであろうか、あらためて空間をデザインするという本質的な意味を考えさせられた良い審査であったと思う。

大賞

Grand prize

隙屋

鈴木幸治

株式会社ナウハウズ一級建築士事務所

審査委員長 近藤 康夫

大賞評

ここ数年、JCDデザインアワードは、商業を中心とした応募作が受賞できていない風潮があった為、物議を醸し出すことが多い。こうした傾向がある中で、住宅作品である今回の大賞受賞作も、新たな問題を抱えていることは間違い無い。審査終了後に、大賞として認められるかどうかについての意見も出ていたが、応募、審査の段階で候補として残している限り、問題は無いと考えている。こうしたJCDの取り組みは、すべてのジャンルが横断的にとらえられているという社会状況を反映した故の結果ではないかと思う。この受賞作の評価は、「隙屋」というタイトルの通り、外壁をぐる

りと取り囲むように打ち付けられた杉板の隙間から光を取り入れるという素直な解決方法が、際立っている点である。外壁との境界をあいまいにし、光で空間をコントロールするというシンプルな構造が、空間の豊かさにつながっている。作者も述べている通り、「人間の感性に重きをおいたエコの家」という表記は現在社会が抱えている問題に一石を投じるものであろう。商業施設を設計する上でも、表層のデザインにとらわれることなく、デザインが本来もつ意義である、社会情勢を反映した問題意識のようなものが表現されるべきだと思う。

■選考点数一覧表

	応募総数			入賞点数
	国内	海外	計	
1.買うこと	63	6	69	7
2.食べること	68	4	72	1
3.集うこと	55	0	55	1
4.楽しむこと	59	5	65	1
5.伝えること	86	5	91	7
6.感じること	58	5	65	9
合計	389	25	414	26

■入賞の内訳

大賞	金賞	新人賞	審査員賞	銀賞
	1	1		5
1				1
		1		3
	2		2	3
	2	1	3	
1	5	3	5	12

デュラスアンビエント 船橋

大野 力
株式会社シナト

箱根 Art Loop

遠藤 幹子
office mikiko 一級建築士事務所

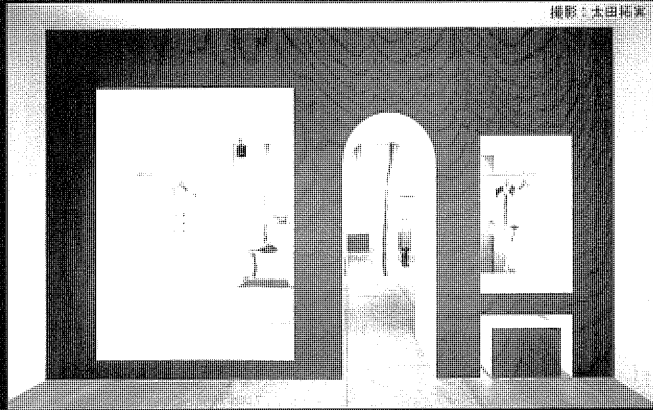
新人賞
Rookie award

masser de la vie paradis salon
Caresse moi

山本陽一 / 伊東弥生
山本陽一建築設計事務所

JCDデザインアワード2008

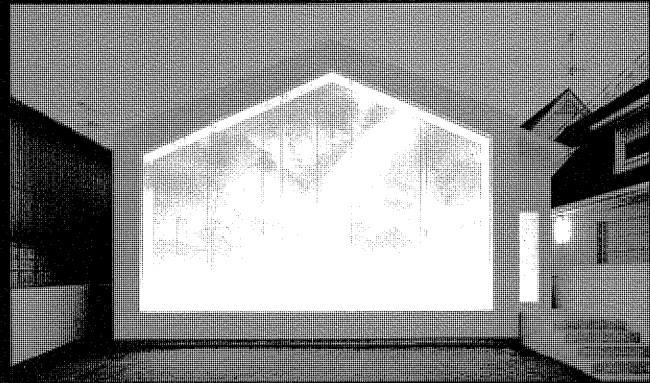
金賞 Gold prize



BLESS
KEIKO + MANABU



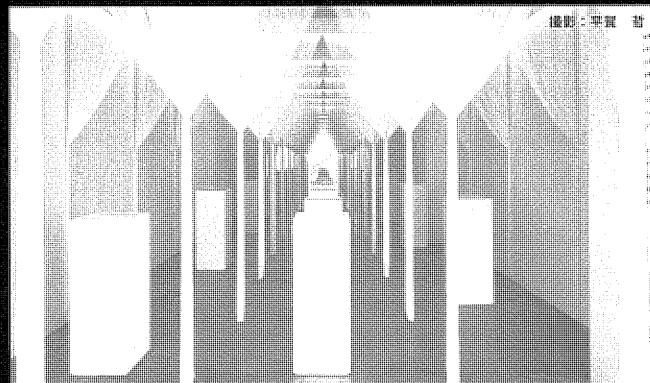
「ハンカイ」ハウス
宮本佳明
株式会社宮本佳明建築設計事務所



廣瀬園科診療所
永田 武
eleven nine interior design office



佐川美術館 樂吉左衛門館
内海慎介
株式会社竹中工務店

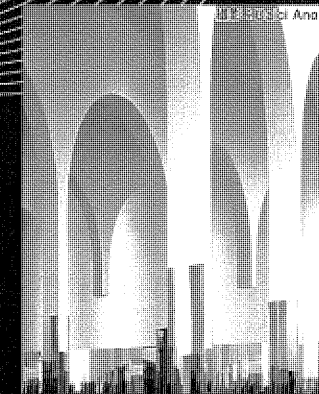


MUSVI
長岡 勉 / 田中正洋
point

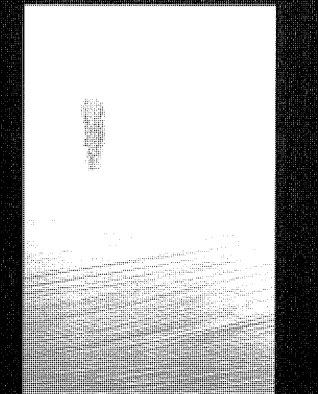
銀賞 Silver prize



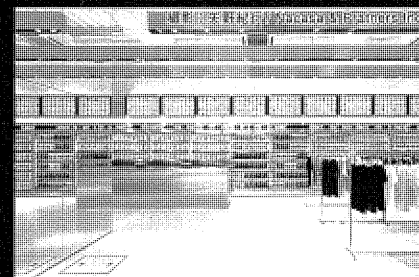
杭州ロマンチズム2
迫慶一郎 / 石坂猛志 / 原信敏 SAKO 建築設計工社



ジンス グローバルスタンダード 広島店
齊神尚史 / 田中美香 日古坂事務所



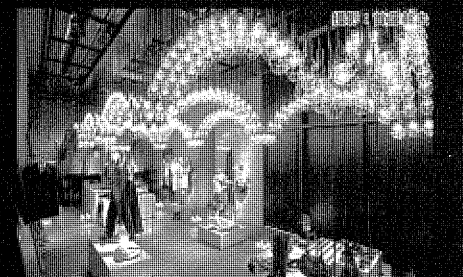
TECHTILE EXHIBITION
nosigner



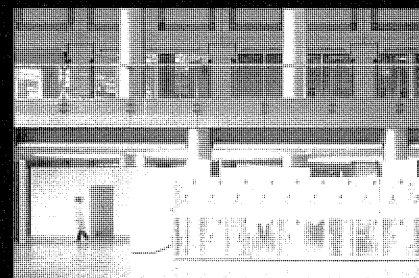
UT STORE HARAJUKU
窪田 茂 IRIKAWA & Partners / 窪田建築都市研究所



Duex
中住直義 ポリディアインテグレーション建築士事務所



Suspended Figure
丸田絢子 株式会社丸田絢子建築設計事務所



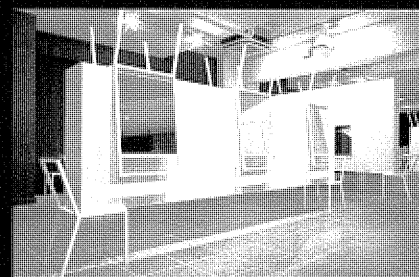
chair cafe
米谷ひろし トネリコ



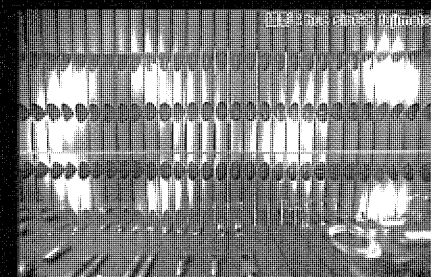
Detox Natural Antiageing DNA
長尾社一郎 タカラスペースデザイン株式会社



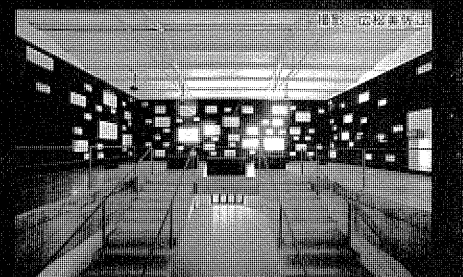
le jardin
湯口 巖 タカラスペースデザイン株式会社



index hair
湯口 巖 タカラスペースデザイン株式会社



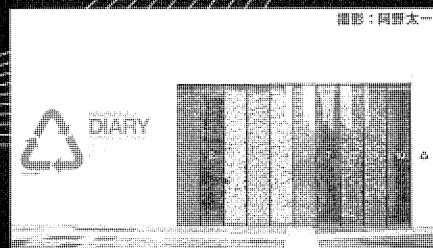
荒川技研工業表参道ショールーム
大坪輝史 6D



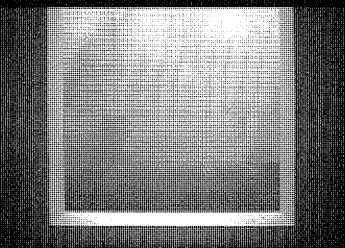
北京「BORDERLINE」
杉田宗 ベンシルバニア大学 / 青山周平 SAKO 建築設計工社

審査員賞 Jury's prize

- 近藤康夫賞
- 川島蓉子賞
- 中村竜治賞
- 廣村正彰賞
- 面出 薫賞



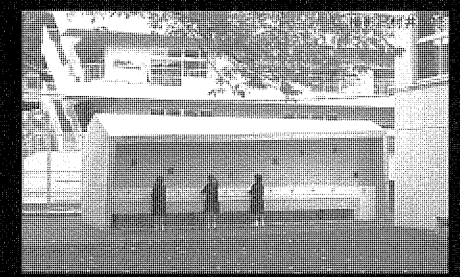
近藤康夫賞 DIARY
中藤泰昭 / 古市理 / 渡辺賢 / 太田英和 / 藤原隆 / 野瀬英未耶
大成建設株式会社一級建築士事務所



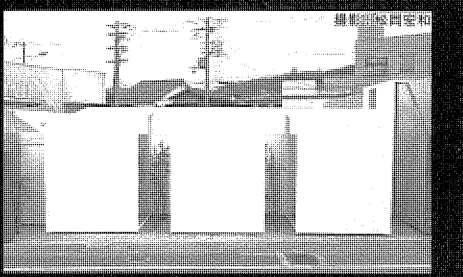
川島蓉子賞 Sweet Room
米谷ひろし / 若塚賢 / 増子由美 トネリコ



中村竜治賞 soup cups
ナツメトモチ



廣村正彰賞 田園調布雙葉学園小学校屋外トイレ
藤田純也 / 白石充史 / 田口裕子 株式会社竹中工務店



面出 薫賞 山手歯科クリニック
熊沢信生 / 岩橋 翼 株式会社アリエ KUU

JCD/DAIKO連続デザインシンポジウム

研究委員会 中尾 晋也

2008年度 JCD/DAIKO 連続デザインシンポジウム SECTION44&45は、JCDコミュニケーション委員会（品川委員長）において委員会内のシンポジウム委員会（中尾委員長）が中心となって会議を重ね、グローバル、グローバルの造語として、よく使われるようになった「グローカル」をテーマに東京・大阪で開催した。

<委員会メンバー>

コミュニケーション委員会委員長

品川正之（関東支部）

コミュニケーション委員会シンポジウム委員会委員長

中尾晋也（関西支部）

コミュニケーション委員会委員

小田秀樹 折原実紀 笠原英理子

木村倫香 古川紳太（以上関東支部）

岩本勝也（関西支部）

小林由幸（大光電機）

<開催趣旨>

国境がなくなりボーダレスになりグローバルな感性を求められるといいながら、ローカルな視点から民族のアイデンティティなどが世界のあちこちで噴出しています。デザイナーそれぞれの自分自身のポジション、スタンスを明確にし、仕事をしなければならない時代であると考えます。

グローバルな仕事をローカルな視点で行う、或いはローカルな仕事をグローバルな視点で行うなど、日本人でありながら海外を拠点に、海外の仕事を多くこなす。あるいは外国人でありながら母国ではなく日本で活躍する。今回のシンポジウムでは日本と海外をまたいで仕事をするクリエイターに焦点を当て、その経験に基づいた「デザインの今」を語っていただきます。



<SECTION 45 OSAKA>

関西支部研究委員会では、本部コミュニケーション委員会事業である、JCD/DAIKO 連続デザインシンポジウム SECTION45 の開催をサポートした。

シンポジウムはコミュニケーション委員の折原実紀会員



パネリスト エマニュエル・ムホー氏



パネリスト 塩見一郎氏



パネリスト 橋本夕起夫 会員



コーディネーター 岩本勝也 会員



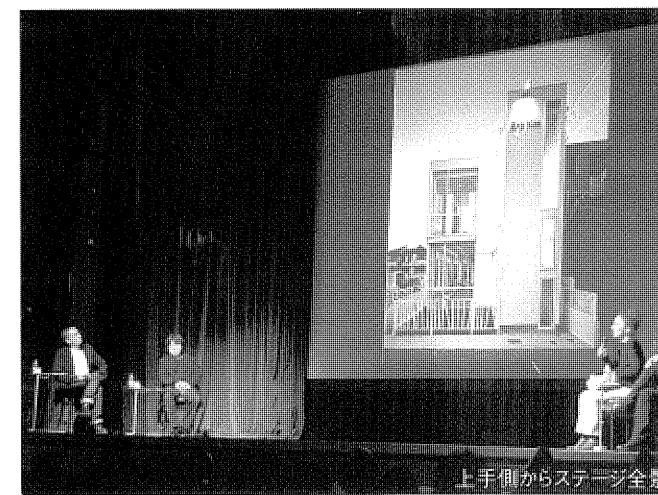
と私の司会で幕を明け、主催者を代表して飯島直樹理事長と大光電機・前辰二代表取締役社長のお二人のあいさつの後、満席の会場でスタートした。

今回のコーディネーターは研究委員長でもある岩本勝也会員が務め、スピノフの塩見一郎氏、橋本夕起夫会員、emmanuelle moureaux architecture + designのエマニュエル・ムホー氏をパネリストに迎えた。

コーディネーターの岩本氏のリードで、エマニュエル・ムホー氏から自己紹介を兼ねて、初めて日本に来て無彩色のパリの街と比べて、池袋のカラフルな美しさに魅かれたと意外な一言からスタート。塩見一郎氏も大阪から上京しインテリアデザインオフィス ノブで務めた後、独立開業し、多くの物件を手掛けてきたことを紹介。橋本夕起夫氏も愛知県から上京し、スーパーポテトを経て独立、最新作のペニンシュラホテルに至るまでのプロフィールを語った。

パネルディスカッションは、各々の海外での最初の仕事をテーマに話を展開。文化の違いを乗り越えてのデザインワークの大変さを口々に語った。

今回のテーマである「グローカル」は、大きなテーマでそこに結び付けるのは大変困難ではあったが、パネリスト一人ひとりの、育った家族、街、国そして異国での環境が複雑に絡み合っているデザインワークの面白さも同時に伝わってきたシンポジウムであった。



< JCD/DAIKO連続デザインシンポジウム >

SECTION44 TOKYO

2009年2月18日(火) 於:九段会館

パネリスト グエナエル・ニコラ
迫 慶一郎、橋本夕起夫

コーディネーター 岩本勝也

動員数 およそ900名

SECTION45 OSAKA

2009年2月26日(木) 於:大阪市中央公会堂

パネリスト エマニュエル・ムホー
塩見一郎、橋本夕起夫

コーディネーター 岩本勝也

動員数 およそ600名

テーマ: グローカル GLOBAL? LOCAL?

主催: (社)日本商環境設計家協会 大光電機(株)

後援: (財)国際デザイン交流協会

(財)店舗システム協会

(社)日本インテリアデザイナー協会

(社)日本ディスプレイデザイン協会

(社)日本サインデザイン協会

(社)日本インダストリアルデザイナー協会

(社)商業施設技術者・団体連合会

中間法人日本インテリアプランナー協会

空間デザイン機構

大阪デザイン団体連合機構

協賛: (株)商店建築社

(株)てんぼ流通新聞社

(株)日本店装新聞社

(株)建築資料研究社

(株)六耀社

(株)ベルファニチャー

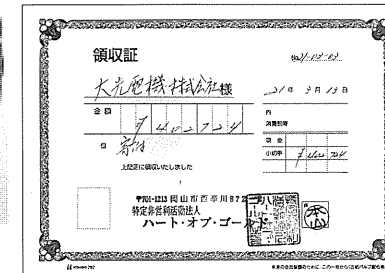
アイデック(株)

<ハートオブゴールドへの寄付金>

東京・大阪のパーティー参加者の寄付と橋本氏、岩本氏の書籍販売売上金額の合計402,724円を、3月10日 NPO 法人ハートオブゴールド代表理事の有森裕子氏にお届け、受領していただきました。カンボジアの恵まれない子供たちのために有効に活用していただきます。



左から大光電機 津下統括部長、有森裕子氏、中尾会員 3月10日 NPO法人ハートオブゴールド東京事務所にて



新入会員紹介

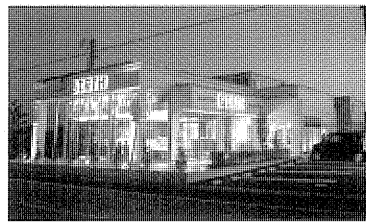
長山 博



maglon[®]
design
マグロンデザイン

この度、JCD 関西支部に入会させて頂きました
マグロンデザインの長山と申します。
私は、設計施工会社に8年勤めた後、2008年に
独立マグロンデザインを立ち上げました。
現在は、店舗設計という枠に囚われず、グラフィックや
商品提案、販売促進のアドバイスなど
「売れる店づくり」をテーマに、お客様のニーズに
極力答えられるよう、日々奮闘致しております。
まだまだ未熟者で、ご迷惑お掛けする事もあるかと
思いますが、何卒よろしくお願い致します。

〒530-0041 大阪市北区天神橋4-5-2 エンゼル天満ビル202
mobile.090 4278 5863 fax.06 6809 6825



新入賛助会員紹介

株式会社アダル

私たちはインテリア家具で商業空間に彩を与える会社です。

妥協を許さないスペシャリストたちが積み上げてきた日々の創造。創造への挑戦こそがADALの財産です。



～ 商品力 ～

- 1.国内自社工場による短納期別注対応
- 2.中国自社工場による低価格高品質の実現
- 3.海外直輸入ルートによる高付加価値家具の調達

～ 提案力 ～

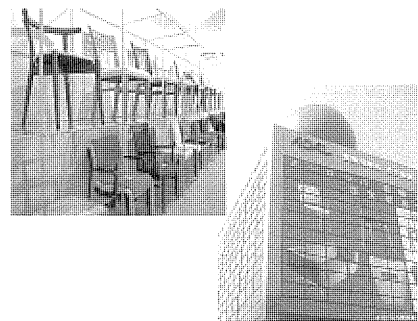
長年の経験、幅広い知識の中から、家具のプロフェッショナルとして
お客様のニーズに最も合う商品をご提案いたします。

～ 組織力 ～

国内12の営業拠点、3つのショールーム、国内外5つの生産拠点による
地域密着及び包括型の強力なネットワーク、信頼のシステムと管理で、
全国のお客様から多くの信頼を得ています。

ADAL=ADVISER FOR AMENITY LIFE
快適な生活空間のよきアドバイザー

株式会社 アダル 大阪支店
〒556-0014 大阪市浪速区大國1丁目21 NICビル6F 602号
TEL:06-6646-4141 FAX:06-6646-4488
http://www.adal.co.jp 担当:平田/清水



有限会社神城技研

JCD会員の皆様、この度新入賛助会員になりました(有)神城技研
です。

当社は、内装の「軽天(LGS)」「各種ボード」施工会社です。「世界
はプラスターボードで作られている」という言葉でもあるように、
空間を作る上では、それらはなくてはならない材料及び施工です。

当社は店舗、加工物、マンション、官庁、耐震補強等の施工実
績があり、その中でも耐震天井に関しては、数多くの施工実績があり
ます。

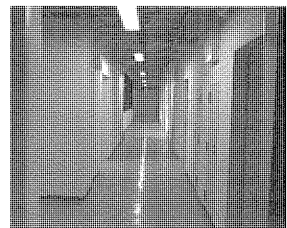
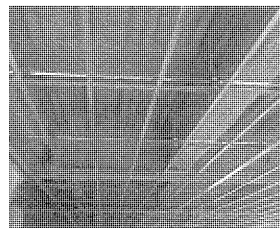
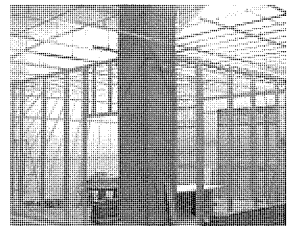
会員の皆様の空間演出に少しでもお役にたてれば幸いです。

今後も有限会社神城技研を宜しくお願いいたします。

有限会社 神城技建

KAMISHIROGIKEN

〒610-0121
京都府城陽市寺田水度坂15-110 水度坂マンション1F
TEL (0774) 55-5744
FAX (0774) 55-5745
E-mail oficce@kamishirogiken.co.jp



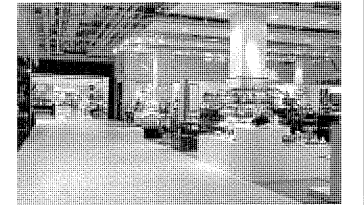
新入賛助会員紹介

クリヤマ株式会社

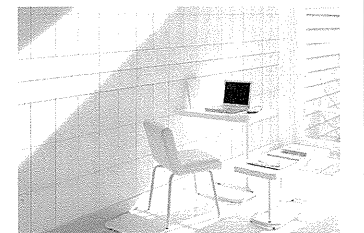
空間創造タイル建材コレクション

クリヤマの『SUPER MATERIALS』スーパーマテリアルズは、
国内外のデザイナーとコラボレートすることでクオリティーを極め、
今までにないオリジナリティを実現した『空間創造タイル建材コレクション』です。
「Super Stone」はセラミックの特性をどこまでも生かし、
異質な質感と色彩を表現した床・壁用セラミックタイルです。
「Super TM Wall」は凹凸や模様、風合いなど、レザーやファブリック、
岩盤を持つテクスチャーの存在感を忠実に再現した内装壁材です。
独自のノウハウと最新テクノロジーの融合によりコストをも追求した製品を、
新しい空間を創造する、全てのクリエイターにご提案いたします。

クリヤマ株式会社
〒532-0011 大阪市淀川区西中島1丁目12番4号
TEL:06-6305-5611 FAX:06-6305-5615
http://www.kuriyama.co.jp 担当/建材チーム 宮谷 真由美

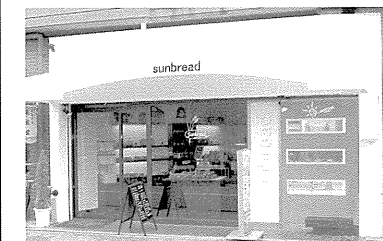


Super Stone



Super TM Wall

株式会社大富



賛助会員として入会させていただきました(株)
大富です。
弊社は、建築・内装の施工はもとより、木材・
石材・ガラス等の輸入建材及び内装材を扱っ
ております。

会員の皆様のDesignのお役に立てるような
「素材」や「加工品」を、リーズナブルに提供
させていただきますので、是非ともお声掛け
いただきますよう、ヨロシクお願い致します。

株式会社 大 富 [DAITOMI]

本 社 〒666-0002 兵庫県川西市滝山町14番7号
TEL:072-759-4565(代表)
中国出張所 福建省福州市鼓楼区華林御景2号楼30A
※商店建築2008 4月号に当社が施工協力したホテルが掲載されています。

和田商事株式会社

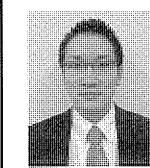
人工大理石の製造・各種人大加工販売

商品名:クリエイトン(CREATON)、マーベロン(MARBELON)

弊社は完全な「マーケット・イン」つまり、受注生産によって商品作りを行って
います。それは、消費者の求める物、ニーズを常に提供したいという私達
の考えから生まれた結果です。

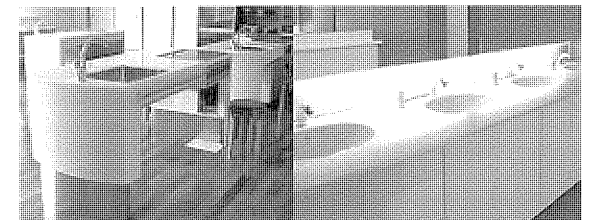
また、商品企画、開発を始め、クリエイター、消費者のマーケティング戦略
を強力にサポート致します。

今回のJCD新規加入の折に、会員の皆様には、弊社を知って頂く良い機
会になればと思います。今後とも和田商事(株)を宜しくお願い申し上げます。



和田商事株式会社

[本社]・工場 福岡県遠賀郡遠賀町鬼津丁口1662
TEL(093)293-5577(代表) FAX(093)293-5566
大阪事務所 大阪市中央区北久宝寺町2-6-10
ニューライフ船場607号
TEL(06)6245-0331(代表) FAX(06)6245-0332
ホームページ http://www.wada-shoji.co.jp



デザインカレッジ

広報企画委員会 橋本 健二



＜JCDデザインデザインカレッジ＞

日時:2008年3月28日(土) 13:00~17:00
 場所:橋本健二建築設計事務所(JR茨城駅 徒歩7分)
 内容:建築・ランドスケープ・現代美術の世界で活躍される3人の方の講義
 タイムスケジュール:
 13:00~14:00 原田量治 「木造建築を語る」
 14:10~15:10 荻野寿也 「ランドスケープを語る」
 15:20~16:20 松井智恵 「自身の作品を語る」
 16:30~17:00 質疑応答

3月28日に、第1回目のデザインカレッジを催しました。デザインカレッジの主旨は、若手インテリアデザイナーの育成が主です。インテリア関係に関わらず、建築・アート・ランドスケープなど多岐にわたりゲストを呼びお話を聞き、知識や人脈の巾を広げていく機会になればと思企画しました。

今回は、JCDの活動内容を知っていただくためにも建築家の方や家具の販売関係の方などに参加していただきました。第一回目のゲストは、株式会社合掌の原田量治さん、荻野寿也景観設計の荻野寿也さん、美術家の松井智恵さんの三人でした。

合掌の原田さんは、設計事務所設立後に大工の棟梁に木造トラスを学ばれ伝統木造の重要性を広めたいと合掌を設立されました。普段は、仕事の合間にトラスの勉強会を年に何回か、主に建築の設計者を対象に開かれています。今回は、インテリア関係の方々も来られていましたので、建築のお話というより、ものづくりに対しての想いや、自分が弟子として師匠とどう関わってきたか、そして自分が茶道や華道を勉強しどう変化してきたかなど、経験を元に貴重なお話を聞くことが出来ました。私自信も普段の生活を振り返り、考えること・つくること・人と接することなどを

思うと反省することがいろいろありました。

お二人目は造園の荻野寿也さんです。ご実家の荻野建材入社後、緑化部

を設立され、ゴルフ場の改造工事を機に樹木・芝生の植生を研究され以後、独学で造園を学ばれました。お話の内容は、いろいろな建築家と携わりながら庭の表現をされてきた例を具体的に写真で見せていただき、それぞれの説明を聞きました。緑化された犬小屋のお話もなかなか面白かったです。荻野さんらしい、庭に対する関わりも個性的でよかったです。現実的な植栽のことも勉強になりました。

三人目は、美術家の松井智恵さん。80年代よりインスタレーションを手がける作家として注目を浴び90年を通して海外で紹介される機会も多く、2000年以降は、映像作品を制作しはじめました。今回は、最近の映像作品を観せていただき、最後に何故、映像の作品に変換していったかを語られました。松井さんらしい空間の構成や表現に、建築やインテリアの感覚では捉えられない物を感じたのではないのでしょうか。

最後は、三人の方々への質問やディスカッションの時間です。御三方は、活動の場は違いますが表現者としての想いや関わりなど、実際の庭への考え方や精神論などの三人三様のお話が聞け大変興味深かったです。

今回は一回目ということで、人選やどのような内容で進めるのかなど、まだ詰めきれていなかったところもありました。今後の課題としては、物をつくることについて具体的な勉強はもちろんのこと、社会に対しどう関わるか・どう伝えるかということも考え、デザイナーとして一過性で終わるのではなく、自分自身の持ち味として社会に表現していく人々を育む機会にもなるよう努めたいと思いました。



『出席者の声』

■土屋尊司

木造建築、造園、映像(現代美術)と分野の違う方々の講義であり、大変興味深い内容であった。また、このような場は違う分野での視点などを聞けるいい機会であると感じた。

造園の荻野さんは、作品も去ることながら、植物を扱う上でのディテールの話が大変参考になった。また、松井さんの作品は、内容は分かりやすくはなかったものの、作品に対する思いや考え、視点の面白さなどが印象的であった。個々の講義とは別に、リラックスした状況でのディスカッションでも違う分野での考え方の共通性や相違点などがわかり、面白い内容であった。「質疑応答」ということだったので、あまりまとまったディスカッションではなかったと感じたが、個人的には何か共通のテーマを設定した上で、違う分野の方々の意見をぶつけあうようなスタイル(パネルディスカッション形式?)の方がより面白い内容になるのではないかと感じた。

■西田大介

昨日はJCDデザインカレッジに参加させて頂き、まことにありがとうございました。普段参加している建築やデザインの話が主体の講演会とは少し違った内容の

お話を聞くことが出来たことで、今後、自分の幅を広げていけるきっかけになったと思います。

自分としては松井さんの「視覚以外の感覚」のお話が特に興味を沸かしました。デザイン面では目に見える美しさばかりにとらわれがちでしたが、よく思い返してみると通常生活では目だけでは無く、感覚で気持ちよさを判断していることが多いように思いました。目を閉じ、感覚を広げることを意識的に行ってみたいと思います。今後も様々な講演会に脚を運び、自分の幅を広げていくと共に社外ネットワークを強化していきたいと思ひます。

■井上智晴

個人的な話。デザインという言葉を感じるには飽きた。商いにおける付加価値としてのデザインにも、建築バカの窮屈なデザイン論にも日々疲労感を感じずにはいられない。

今回の講演。デザインの最前線の現場で活躍しながら、日ごろデザインについて多くを語らない(あるいは聞けない)方に講師として来て頂けたのがよかった。ライブ感のある会場や酒が振舞われたことで和やかな雰囲気になったが、その影に強いアンチテーゼが潜んでいたように感じた。

■講師プロフィール

原田量治
 1954年生まれ。関西大学建築学科卒業。1988年設計事務所設立後大工の棟梁に木造トラスを学び現代建築の中での伝統木造の重要性を広めたいと(株)合掌を設立。
<http://www.eonet.ne.jp/~truss/>

荻野寿也
 1960年生まれ。1988年実家である荻野建材株式会社入社、同時に緑化部創設。ゴルフ場改造工事を機に樹木、芝生の植生を研究する。以後独学で造園を学ぶ。1999年自邸の「富田林の家」が第10回大阪府みどりの景観賞受賞。
<http://www.o-g-m.co.jp/>

松井智恵
 京都市立芸術大学卒業。80年代より本格的なインスタレーションを手がける作家として注目を浴びる。90年代を通して、ニューヨーク近代美術館、サイト・サンタフェ等海外で紹介される機会も多く、その大掛りな空間造形と、微細なオブジェが融合した作品は高い評価を受ける。2000年以降映像作品を制作しはじめ、映像作家としても知られるようになる。2005年横浜トリエンナーレでは有名な寓話を大胆にモチーフに取り入れたHEIDIシリーズを発表、話題を呼ぶ。

副支部長 末浪 伸浩

日本の空間デザイン展2008

2008年12月13日から19日まで、ATC ITM棟10階の大阪デザイン振興プラザ「デザインギャラリー」にて『日本の空間デザイン展 2008』が、DDA, JCD, JID, OIS, SDA5 団体による出展・共催で例年通り開催されました。

開催に先立って12日には、「交流サロン」で、これも例年通りオープニングパーティが催され、会場の設営を終えた各団体の方々に参加し、和やかな雰囲気をもって賑わいを見せていました。

また、今回からはUSD-Oがフォーラム・共催として参加し、JCDからは会員の郷力憲治氏にパネラーを務めていただき、14日にJCDデザインアワードを語っていただきました。それぞれの受賞作についての的確に丁寧な解説をしていただき、参加していただいた会場の方にも、その内容が十分に伝わっているのが感じられました。紙面をお借りして、感謝申し上げます。

日本の空間デザイン展は、各団体のその年の受賞作を一同に目にする事ができ、傾向や潮流を含め、改めてデザインを見つめなおすには非常に有意義な展示ではあるのですが、交通アクセスの問題等、毎年来場者が少ないのが懸念される所です。

＜日本の空間デザイン展2008＞

開催時期:2008年12月13日(土)~19日(金)
 11:00~18:00(最終日16:00まで)
 開催場所:ATC・ITM棟 10F
 大阪デザイン振興プラザ デザインギャラリー
 主催:大阪デザイン振興プラザ
 日本の空間デザイン展2008 5団体実行委員会
 協力:財団法人大阪デザインセンター
 後援:商い繁盛館
 共催:JCD・DDA・SDA・JID・KIPA

関西支部としては、デザインアワードの在り方を含め、デザイン展の開催方法等を見直し、デザインを志す若い人にとっても、折角の良い機会をもっと活用してもらえるように工夫しアピールすべく検討を重ね、また、会員の方にも喜んでいただけるように内容の充実を図る必要が課題として残っていると思ひます。



2008年度支部総会

交流委員会 市川 邦浩

2008年度支部総会が、6月9日(月)18時から大阪市中央区瓦町の「レストラン Rank」にて開催されました。会の開催にあたり、5月14日ご逝去されました長尾孝雄会員に哀悼の意を表し、全員で黙祷をささげた。



藤村正継新交流委員長の司会ではじまり、白井進支部長による新体制や活動方針である『次代の創造』についての説明、新入会員・新入賛助会員の紹介があった。

金沢明彦副支部長による本部の体制、末浪伸浩新副支部長による革新計画、山田悦央理事により関連外部団体との活動報告が続き、各委員会の活動計画が各委員長により、以下の順で執り行われた。

交流委員会・藤村正継、研究委員会・岩本勝也、広報企画委員会・三嶽穂積、賛助委員会・衣笠和宏の各委員長とも従来の委員会活動に加え、革新・若手の引き出しを図ることなどが述べられた。



引き続き、委員会活動に会場提供などのご協力をいただいた賛助会員大光電機(株)、(株)INAX、(株)サン

ゲツ、(株)タジマの各社に感謝の楯が贈られた。総会は予定通りに無事終了し、19時より懇親会に入った。白井支部長より来賓の(社)日本ディスプレイデザイン協会 関西支部長 郷力憲治氏、(社)日本インテリアデザイナー協会 関西事業支部長 安藤真吾氏、(社)日本サインデザイン協会 関西地区代表幹事 吉田恵三氏、関西インテリアプランナー協会 会長 加藤精一氏の紹介があり、賛助会員を代表して(株)タジマの尾形佳苗氏のご発声で始まった。参加者は来賓・賛助会員・ゲスト・会員計68名でイタリア料理に舌鼓を打ちながら盛り上がった。

恒例の賛助会員によるPRコーナーが、衣笠委員長の司会で始まり、大光電機(株)、エヌ・エス・ケーニシダ工業(株)、パナソニック電工(株)、東リ(株)、(株)ロイヤル、(株)タジマ、クリヤマ(株)、マックスレイ(株)、(株)キノシタ、(株)サカイ、コイズミ照明(株)、(株)福原工業、ニチハ(株)、(株)オリバー、(株)大富、(株)遠藤照明計16社の方々に新商品の紹介をしていただき、ほぼ定刻にお開きとなった。

JCD関西クリスマスパーティ “トークサロン「私の仕事」& Christmas Party”

交流委員会 藤村 正継

恒例のクリスマスパーティですが、本年はパーティだけではなく、JCD関西会員の方の中から、日頃の仕事を紹介していただく時間も合わせて、勉強会&懇親会の形式で行いました。題して“トークサロン「私の仕事」& Christmas Party”となりました。

トークサロン「私の仕事」においては、

- 1. 東 潤一郎 JA laboratory
- 2. 長山 博 MAGLON DESIGN

の御両名による、スライドを交えた仕事紹介を発表していただき、素晴らしい作品を数多く拝見する事ができました。会員の皆様がどのように考え、どのようなデザイン活動をしているのか、より理解を深める事が出来たのではないのでしょうか。

また、懇親会では、例年にも増して交流が図られ、不況を吹き飛ばすような、楽しい時



平成20年度 大阪市優良店舗コンクール JCD賞決まる

渉外担当理事 山田 悦央

この賞は大阪市内の商店街の個店を対象とし、高齢社会やエコ時代に配慮した個性的で魅力的な店舗を大阪市商店会総連盟が主催して行う店舗コンクールであります。協賛としてJCDでは、JCD賞という形で空間デザインに優れた5店舗を表彰しています。

今年度も、平成20年10月24日に臨店審査を行い、平成20年11月28日に右記の通り66店舗が表彰されました。

大阪市長賞	15店舗
大阪市商店会総連盟理事長賞	15店舗
大阪商工会議所会頭賞	13店舗
毎日新聞大阪本社賞	13店舗
DDA賞	5店舗
JCD賞	5店舗

JCD賞 授賞店舗



サクラ(飲食店)



ジュエリー&ウォッチ TANABE (時計・宝石小売業)



Nuts kitchen(飲食店)



心斎橋リフォーム梅田店(洋服のリフォーム)



テラー西海(注文紳士服)

JCD関西恒例ビアパーティ

交流委員会 市川 邦浩

9月10日(水)18時から大阪市北区梅田のライブハウス「KENTO'S 大阪店」を貸しきって開催。44名の参加があった。

懇親会という趣旨のもと、来場者から順にウエルカムドリンク。受付ももちろん飲みながら(金勘定だけはしっかりしましたよ!)、白井支部長の挨拶が始まるころにはみんな良い気分?新入会員の紹介や、賛助会員の紹介のときだけ少しおとなしくした。

19時30分からバンド演奏が始まると、老若男女が前に出てきて踊りだした。年齢層の関係か? オールディーズの音楽に合わせたためか? ゴーゴー喫茶やディスコの乗り(笑)。でも楽しく踊り、大声を上げて関西支部の元気!活力!を見せ付けた。そしてアンコールを2回も...

20時30分にお開きとなり、コップ一杯のビールでロレッツが少し怪しくなった金沢副支部長や思いっきり飲んでロレッツが怪しくなった交流委員会藤村委員長の挨拶の後、三々



五々大阪の夜の街へと繰り出した。

第29回DDA・JCD・SDA合同チャリティー絵馬展

交流委員会 市川 邦治

第29回新春吉例のDDA・JCD・SDA合同チャリティー絵馬展が、昨年と同じ「京阪シティモール・天満橋」にて、1月6日(火)～15日(木)まで開催され、JCD関係者の作品139点が展示されました。会場設営が1月5日の初出勤日、年始挨拶の日と重なり、また作品締め切りが年末など会員の皆様にご迷惑をおかけしました。しかし(株)京阪流通システムズさんの活発な広報活動や、過去応札いただいた方の名簿を蓄積し約200枚の案内状を年賀状としてお届けするなど、来場者増加策が効果を上げ、天満橋に移って3年目ですが、天満橋の正月行事「チャリティー絵馬展」として根付いてきたように思えます。業界としての細やかな社会貢献ですが、本展の意義を再認識しました。

当番をSDAさんとシェアするなど、会員の負担減策を実施しました。それに伴うトラブルも少しありましたが、落札いただいた方へ1月末に作品発送を終え、入金いただいた義捐金は先日大阪府福祉基金に寄付されました。

年末の忙しい時期にもかかわらず出展いただいた方、休みを返上して当番いただいた方など多くの方々のご協力に感謝いたします。



会場風景



最高額で落札の神戸登美子さんの作品2点 次点で落札の前川弘さんの作品

来場者数	約1,500名(昨年約1,500名)
出展作品数	139点(昨年118点)
応札総数	186件(昨年218件)
落札件数	104件(昨年93件)
落札率	75%(昨年79%)
義捐金総額	約25万円(昨年約24万円)

るるぶ会 信州清里高原と八ヶ岳スケッチの旅

平成20年11月1～4日 参加者11名

萱野 光一

ますます盛んなスケッチの旅、精力的に絵筆を握る仲間達で今回は2008年最大のスケッチ旅行として八ヶ岳、甲斐駒ヶ岳を描きに行ってきました。

秋も深まる11月1日～4日、連休を利用して2泊3日(3泊4日)のハードな旅。行き先のペンションは清里にあるネイチャークラブ。オーナーは若い頃、関西で大菅先生と深い関係になられ、会社を退職後ペンション経営のため清里にやってこられたそうです。その後、大菅先生の影響でスケッチの宿に大きく変身し、今では八ヶ岳、甲斐駒ヶ岳、清里高原を描きに全国から来られているようです。

当日は総勢11名、路線バス5人組と車6人組に分かれ、大阪を出発。バス組は難波、梅田、京都から乗り込み、大菅先生のお話を聞きながらいざ甲斐の国へ…。

早々と到着した車組は、上機嫌でペンション周辺をうろろとし、早速スケッチをされた岡さんを皆でさすがやなあと言いながら、秋深まる清里高原を下駄履きで周辺散策にでかけ、夕方からペンションの近くにある温泉に行き、初日はスケッチより飲み会になってしまいました。

2日目はオーナーの案内で、八ヶ岳と甲斐駒ヶ岳を眺められる畑の中でスケッチに励み、遠くには富士山も見ることが出来るほど最高の天気、皆真剣に絵筆を握る姿が印象的でした。



昼は恒例のそばを堪能することになったのですが、これが又こだわりすぎの店で、注文するのも恐る恐る。出てきたそばのとんでもなく堅く太いのは見たことも食べたこともない。歯の悪い我々には、二度と行きたくないなあと言いながらそば屋を後にして、野辺山周辺に場所を移すことに。

晩秋の野辺山周辺は、夏場と違いひっそりとしていて、のんびりと観光が出来そうな雰囲気なのですが、我々は観光よりやはりスケッチポイントを探しに行く方が…。

熟知しているオーナーの案内で、苦勞なく最高のポイントゲット。あまりにも雄大すぎて素人の小生には、廻りの描いているスケッチブックを覗き込む時間の方が多かったような気がする野辺山周辺スケッチでした。

2日目の夜は、清里にも慣れ、散策組や上機嫌組に分かれ、枯れ葉が舞う夕暮れの景色を堪能し、夜は初日と同じく温泉に出かけ、食事後やはり飲み会になり、各自のスケッチブックを持ち出し恒例の発表会になり、夜は更けていきました。

3日目は朝から曇り空になり、スケッチより土産を買いに近くにある清泉寮で信州土産の買い出し、その後昼から帰阪する車組と最後のスナップ写真を谷間にかかる橋の横から八ヶ岳をバックに集合写真。その後、清春白樺美術館へ行きルオーを鑑賞したのですが、ルオー作品より受付のお姉さんを眺めている方が、創作意欲がわくような気がした美術館でした。帰阪組と最後のティータイム後大菅先生の古くからの友人が経営しているギャラリー「歩ら里」へ。山の中に茅葺きのハイカラな店が忽然現れさすが大菅先生の友人やなあと感じ、信州御一行の最後の時間を過ごし車組と分かれ、バス組は深夜便までの時間をもてあまし、夕暮れと共に清里の旅が終わりました。

トータルインテリアメーカー



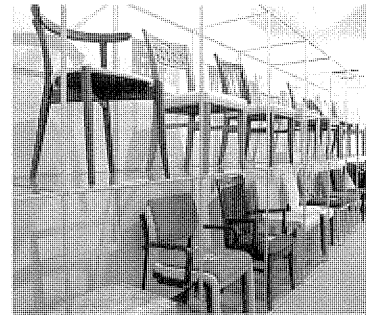
シンコー株式会社

http://www.o-sincol.co.jp

〒577-8525
大阪府東大阪市長田東3丁目3番16号
TEL(06)6747-5291 FAX06-6747-5846

取扱商品

壁紙(クロス)
カーテン・ロールスクリーン
カーペット(ロール・タイル)
長尺シート・CF(ボンリユーム)
椅子張地(レザー・テキスタイル)
塩ビ床タイル(マットネラ)
椅子・テーブル(サンコスモ)
など



ADAL

業務用イス・テーブル及び注文家具 製造 販売

株式会社 アダル 大阪支店

〒556-0014
大阪市浪速区大國町1丁目2-21 NICEビル602号
TEL:06-6646-4141
FAX:06-6646-4488
ホームページ http://www.adal.co.jp
担当:平田・清水
E-mail:e.hirata@adal.co.jp (平田)
shimizu@adal.co.jp (清水)



人工大理石製造・各種人工大理石加工販売
Good Thinking & Good Quality
和田商事株式会社

大阪市中央区北久宝寺町2-6-10
ニューライフ船場607号
TEL:(06)6245-0331
FAX:(06)6245-0332
http://www.wada-shoji.co.jp
E-mail:info@wada-shoji.co.jp

Needs & News

スーパーマテリアルズ

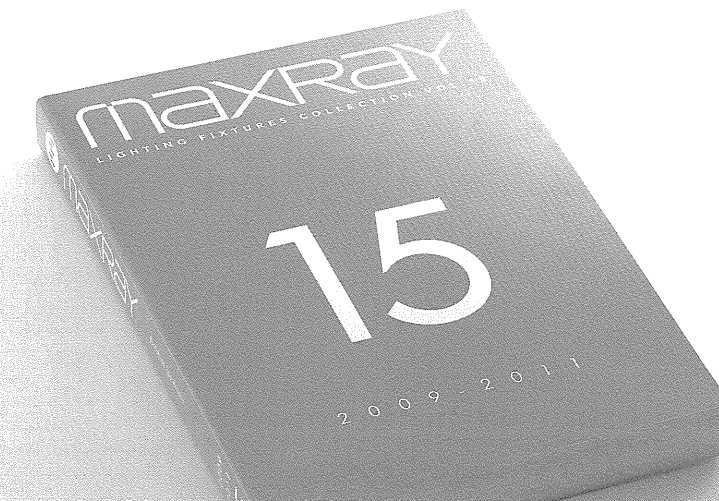


国内外のデザイナーとコラボレートすることでクオリティを極め、今までにないオリジナリティを実現した『空間創造タイル建材コレクション』です。

クリヤマ株式会社
大阪市淀川区西中島1丁目12番4号
建設資材営業部 建材チーム
TEL:06-6305-5611
FAX:06-6305-5615
http://www.kuriyama.co.jp

LIGHTING FIXTURES COLLECTION 総合カタログVOL.15 発刊!

Co-evolution LIGHTING



ともに進化するあかり
時代の流れを感じ、空間デザインのトレンドを見つめ、様々な技術とともに進化するあかり。相互に影響し合うことで、新しい姿を生じていくように、私たちが目指す「五感に響く光」は、時代のニーズと、人々の志向をとらえ、あかりの創造と淘汰の繰り返しから生まれています。人、空間、そして環境と調和する光が、ますます求められる時を迎え、ともに進化するマックスレイの新しいラインナップをお届けします。

総合カタログ2009-2011 VOL.15 をご用意しております。弊社ホームページよりご請求ください。

店舗照明の専門メーカー
maxRAY
A Harmony of Light and Space

マックスレイ株式会社 http://www.maxray.co.jp
〒536-0014 大阪市東区東船場2-18-6 TEL.06-6967-0140 (代) FAX.06-6962-5988
東京 03-3791-2711 大阪 06-6967-0123 名古屋 052-252-9556 福岡 092-431-7824

環境マネジメントシステム
ISO14001を
認証取得しています。
EJ 01838 /
JIS Q 14001:2004



Panasonic
ideas for life

住まいにも、街にも、ますます広がるLEDのあかり。



室内のインテリアに溶け込む
住まいのあかり。



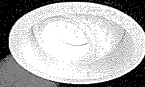
シンプルなシルエットの
住まいのあかり。



建築空間をすっきりみせる
住まいのあかり。



薄くてもしっかり明るい
店舗のあかり。



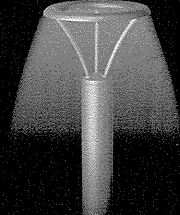
コンパクトなフォルムで
空間になじむ店舗のあかり。



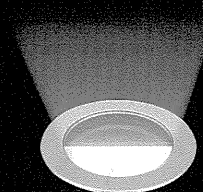
省エネルギーで室内を照らす
施設のあかり。



さりげなく商品を演出する
店舗のあかり。



長寿命、シンプルデザインの
街のあかり。



コンパクトで景観に調和する
街のあかり。

パナソニック **LED** 照明器具
EVERLEDS
エバーレッズ

パナソニックのLEDがさらに進化。用途に合わせた商品ラインアップで、ますます使いやすくなりました。LEDのあかりは、消費電力が少なく、長寿命。これからは、ずっと明るい暮らしが実現できます。

LED照明器具ダウンライト60形高出力タイプの場合*

年間CO ₂ 排出量	年間電気代	ランプ寿命
約54kg削減	約3,000円節約	約40,000時間



※CO₂排出量および電気代算出のための試算条件 ○白熱灯器具レフ電球60形ダウンライト(NL78857WK)とLED照明器具ダウンライト60形高出力タイプ(NNN21010)との比較。○年間点灯時間3,000時間 ○CO₂排出係数0.39kg-CO₂/kWh ○電力料金目安単価22円/kWh(税込)

パナソニック電気株式会社 商業照明EC

お問い合わせ先... 〒540-6217 大阪市中央区城見2丁目1番61号 TEL.06-6945-7805 denko.panasonic.biz/Ebox/everleds/